



2023(令和5)年5月号

「お経典」の内容

今春は、既に真夏日の日があったり、寒さが戻ったり、服装選びに困るおかしな気候が続き、体調管理が難しいですね。

さて、今月は「お経典」についてのお話しです。経典は、釈尊(お釈迦様)が説かれた教えであり、聞き手の素質に合わせて適切な教えを説いた釈尊のお言葉や釈尊のお弟子たちの発言、出来事などがまとめられたものです。お経の表現には、私たちのものさしに合わせて説かれるものと、私たちのものさしを超えたところで説かれるものがあります。例えば、インドの時間の単位の「劫」でしょう。とてつもなく長い時間のことであり、様々な譬えでその長さが示されます。

もつとも有名な譬えが、一劫というのは、四十里四方の岩を、百年に一度天女が舞い降りて、薄い羽衣でサツと払い、その時の僅かな摩擦を繰り返して、やがてその岩が無くなる時間のことをいいます。

阿弥陀如来は、私たちを救うために、この五倍である「五劫」の間、考え抜いたというお話。まるでおとぎ話を聞いているようで、信じられるかとなつてしまいますね。

しかし、大切なことは、私たちの経験や判断を超えたところで説かれたことを、どう受け止めるかであります。その受け止め方で、それまでの自分の考え方や生き方を少しでも変えられるのです。これが教えに出遇うということでしょう。

親鸞聖人は、「教行信証」という書物の中で、はるか昔から今この時まで、生まれかわり死にかわり、煩惱に汚されて清らかな心を持たず、嘘いつわりや媚びへつらう心に溢れ、真実の心を持つこともなく、迷いの世界をさまよってきたのであると述べられ、私たちのありさまを示されました。そして、それと対比するように、五劫の間考え修行されたと述べておられます。

つまり、私の罪悪や迷ってきた長い時間と、阿弥陀如来の修業期間が対比して述べられているのです。

ということは、阿弥陀如来が私た

ちのものさしを超えた長い期間の修行をされたのは、ほかでもないこの私のせいであったということになります。

親鸞聖人は、「五劫思惟の願をよくよく案ずれば、ひとへに親鸞一人がためなりけり」というお言葉を残されています。

お経が信じられない単なるお話、おとぎ話にならないよう、受け止め方、正しい目を養いたいものです。

会館からのお知らせ

現在、毎週水曜・木曜の終日、職員が不在にいたしております。また、朝のお勤めもお休みとなります。ご不便とご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

お葬儀、ご法事など仏事に関するご希望は、年末年始、曜日などを問わず、お受けいたします。

会館のお知らせ

★灌仏会

講師：山本 清哲 師（神奈川県 妙延寺）
4月16日（日） 午後1時～ お勤め：讃仏偈

当日は、12名のご参加をいただきました。初めてお越しのご講師でしたが、分かりやすく「お釈迦様」のお話をいただきました。法要終了後、お釈迦様の立像に甘茶をかけて、最後にお菓子のつかみ取りをしていただきました。たくさんお持ち帰りいただけたでしょうか？

ご講師：山本 清哲 師



法要・法座のようす



会館のお知らせ

2023年 年回忌表	
1周忌	令和4年
3回忌	令和3年
7回忌	平成29年
13回忌	平成23年
17回忌	平成19年
23回忌	平成13年
25回忌	平成11年
27回忌	平成9年
33回忌	平成3年

(ご法要のお申し込みをお忘れなく)
 ※インターネット配信によるオンライン法要も承ります。遠方の方にはネットでの繋ぎ、一緒にお参りしましょう。くわしくは当会館までお問い合わせください。

2023年の年回表

法要後、お菓子のつかみ取り



永代経の奨励について

さて、みなさま「永代経」という言葉をご存知でしょうか。「末永く(永代に)お経が読まれる」ということです。ある程度まとまったお布施を「永代経懇志」としてお納めいただき、お寺では「永代経法要」をお勤めさせていただきます。これによって、お寺が末永く存続し、そこで子や孫が代々にわたって仏さまの教えを聞き喜ぶことが出来るものです。

お寺が存続することで、故人さまの節目のご法事(お盆、お彼岸、年回忌法要など)を当会館が永代にわたってお勤めさせていただきますことが出来ます。ご先祖をはじめ、先立った故人の御命日に誰かお参りするだろうか、残された方に負担をかけないだろうか、つい心配になる自分が亡くなった後のこと。そんなあなたが安心することが出来る「永代経」をご検討されてみませんか？

ききょうしき 帰敬式 —おかみそり— のご案内

帰敬式とは、生前に法名(一般的にいう戒名、浄土真宗では法名という)を受ける儀式のことです。帰敬式、それはあなたの2回目の誕生日。あなたが生まれたときが1回目の誕生日。そして、あなたが法名をいただいた日、仏弟子として生まれた日が人生2回目の誕生日です。生きている今こそ、法名をいただいて新しい人生を始める。授かった法名は、嬉しいとき、そして苦しいときにも、仏さまの教えを依りどころとする人生の道しるべとなるでしょう。あなたも第二の人生をスタートさせてみませんか？

※詳細は会館までお気軽にお問い合わせください。

▶ 5月の行事予定

常例法座

講師：北村信也 師（東京都 稱讃寺）

5月14日(日) 午後1時～

今年度最初の常例法座です。
仏さまのお話をご一緒にお聞きいたしましょう。

親鸞聖人御命日お晨朝総参拝

月に1度、朝のお勤めにお参りしませんか？
お供物のおさがりをプレゼントいたします。

5月16日(火) 午前7時～

京都西本願寺

親鸞聖人御誕生850年

立教開宗800年記念慶讃法要団体参拝

5月20日(土)～21日(日)

※旅行申込は締め切らせていただきました。
ご了承ください。

▶ 6月の行事予定

宗祖降誕会

講師：成田真二郎師(神奈川県 善行寺)

6月18日(日) 午後1時～

ひと月遅れですが、親鸞聖人のご誕生をお祝いする法要です。
ご一緒にお祝いいたしましょう。

東久留米会館会報 「ともしび」
第325号

発行日 2023年5月1日

発行者 富永 秀徳

住所 東京都東久留米市柳窪5-8-30

電話番号 042-474-6787

編集後記

いよいよ今月は行事予定にも記載のとおり、京都西本願寺を参拝いたします。五〇年に一度の法要の機会です。参加希望は9名。事故なく素晴らしいご縁となることを念じています。これに伴い、20日と21日の朝のお勤めはお休みいたしますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

先月のお仏飯米などのご進納
山下 肇 様
誠にありがとうございました。